

産業戦略室

2024 年度には、JIRA 画像医療システム産業ビジョン 2030 を策定しており、2025 年度はビジョンの実現に向けての活動検討と推進が期待される。加えて、会員企業への提供価値を向上させ、スタートアップを中心とした新規会員の増大と WEB 会議を活用した参画メンバーの拡大に繋げることが重要である。

2025 年度の JIRA 活動基本方針は、「JIRA 画像医療システム産業ビジョン 2030」にある 5 つのビジョンの実現を目指し策定されている。

産業戦略室は、新たなビジョンの下での画像医療システム産業の発展をめざした企画を行う。さらに、他団体との連携や対外的な情報発信・政策提言の実績を積み上げ、JIRA 全体戦略の企画・立案・発信を実施する。

今後 3 年間は、産業戦略 WG が主体となり進める「JIRA 画像医療システム産業ビジョン 2030」の実現に向けた課題設定や体制整備を支援する。

JIRA 画像医療システム産業ビジョン 2030 の 5 つのビジョンは、以下。

第 1 のビジョン：JIRA 産業の振興と関連領域との連携強化

世界をリードするイノベーションの創出とその早期社会実装・有効活用を推進し、関連団体との連携強化による相乗効果を実現する。

第 2 のビジョン：「データが変える医療」の実現に向けた環境整備

新たなデータ活用技術による業務効率化と、より高度な医療を提供するシステムの社会実装に向けた環境を整備し、データが変える医療を目指す。

第 3 のビジョン：医療機器に即した法規制、保険制度の実現

医療機器（SaMD 含む）に即した法整備の提案と予見性のある診療報酬制度の具体化により、JIRA 関連産業の拡大を目指す。

第 4 のビジョン：グローバル市場での競争力の強化

画像医療システムに関連する企業がグローバルに開発・製造し競争力を得る環境（国際整合、公平性等）を行政と協働で実現する。

第 5 のビジョン：持続可能な医療を提供する産業構築

事業継続の阻害要因に対応した商品の提供と予見される事態への事前準備、および環境負荷に配慮した商品の提供により安全・安心で安定した医療を可能とする。

以下に、2025 年度 産業戦略室活動計画の全体を示す。

1. 本会産業戦略の企画・立案・発信

(1) 政策企画会議主催・運営による本会産業戦略実行強化

(2) 研究会、勉強会等を開催し、画像医療システム産業の方向性を検討

- ◆ 参加者視点での画像医療システム産業研究会の開催（開催時間＆回数・見逃し配信などを充実）
- ◆ 今後の方向性を模索する

(3) 本会産業戦略のプレスリリース企画、推進

- ◆ ITEM in JRC2025 JIRA 記者会見（2025 年 4 月）
- ◆ JIRA 会長 年頭記者会見（2026 年 1 月）

(4) JIRA 画像医療システム産業ビジョン 2030 の実現にむけた進捗フォローと課題策定

- ◆ 産業戦略 WG による JIRA 産業ビジョン 2030 の JIRA 活動の進捗フォロー
- ◆ JIRA として取り組みの弱い項目の検討は、課題解決に向けて、部会・委員会への落とし込みや横断組織などの新しい活動部隊の立ち上げ等を行う。
 - 第 1 のビジョン：JIRA 産業の振興と関連領域との連携強化
 - ◇ 社会実装後の普及に向けた課題解決
 - 第 2 のビジョン：【データが変える医療】の実現に向けた環境整備
 - ◇ AI の特徴を活かした運用を実現するための環境整備

- 第3のビジョン：医療機器に即した法規制、保険制度の実現
 - ✧ 市販前審査期間の短縮と基準の最適化
 - ✧ 非医療機器とは異なる医療機器の有効性の国民への周知と公正な競争環境の整備
- 第5のビジョン：持続可能な医療を提供する産業構築
 - ✧ 自然災害やパンデミックなどの緊急時の環境にも稼動を維持できる製品・部材の実現

(5) 工業会活動の基盤強化

- ◆ 会員企業の事業強化や人材育成につながるオンラインセミナー・ウェビナーの開催
- ◆ JIRA 会員企業と医療従事者を結び、医療従事者のニーズ把握・JIRA 会員企業からの情報発信を円滑に実施できるプラットフォームを構築・運用する。
- ◆ 法規制や規格/標準化活動のエキスパートの育成

2. 年度活動基本方針の提案、各部門が作成する事業計画、事業活動報告の取り纏め

- (1) 2024 年度 JIRA 事業報告の取り纏め（2025 年 4 月～6 月）
- (2) 2024 年度事業報告、2025 年度活動基本方針及び事業計画に関する社員総会資料作成(2025 年 5 月～6 月)
- (3) 2026 年度 JIRA 活動基本方針の提案、取り纏め（2025 年 10 月～12 月）
- (4) 2026 年度 JIRA 事業計画の取り纏め（2026 年 1 月～3 月）

3. 産業戦略に関する内外の情報収集・調査・根拠データ作成、発信

- (1) 関係省庁、医機連からの情報収集と会員へ配信
- (2) 中長期課題の設定
 - ◆ 2025 年度はプログラム医療機器に関して検討する
例：会員の事業展開の方向性把握、海外を含めた動向調査、ポジションペーパーの作成等
- (3) 産業戦略に関する内外の情報収集・調査と DATA BOOK での発信の支援
 - ◆ DATA BOOK2025 発行(2025 年 4 月)
 - ◆ DATA BOOK2026 企画・執筆・編集(2025 年 12 月～2026 年 3 月)
- (4) 市場統計（売上・受注）の運用支援

4. 産業戦略に関する行政機関、関係機関等との交渉・調整等の活動

- (1) 内閣府、厚生労働省、経済産業省等、省庁との対話会等への提言作成支援
 - ◆ AI(人工知能)の社会実装拡大と将来の活用形態を見据えた法律・環境整備への提言
- (2) 外部団体と連携した提言活動強化
 - ◆ 医機連、JRC 3 学会(JRS、JSRT、JSMP)、JART、医療機器センター、JCR、AMED、MEJ、日本メディカル AI 学会等との連携
 - ◆ 増加する SaMD 関連団体の実態把握、連携強化
 - ◆ 肺がん早期発見への貢献活動（日本肺癌学会、日本 CT 検診学会等）